

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 令和3年5月20日(火)
午後1時27分から午後2時34分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 15名
- 5 欠席議員 なし
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主任 高野真理子
- 7 会長あいさつ
- 8 報告事項

(1) 各チームの現況報告について

I C Tチーム長 片岡議員:事務局からメールで資料等が配信されているが、パスワードを付けなければならない。解凍の仕方等、不都合がないか確認したい。

須藤議員:パスワードを入れても開けないことがあった。

片岡議員:コピーして貼り付ければいいと思うが、やり方については個別に伝える。

水野議員:蛇足になるが、パスワードも本体も、発信元と送信先が同一なので、セキュリティとして意味があるのか。

関戸議員:2つに分ける仕組みで、認められた方法である。

B C Pチーム長 大野議員:普通救命講習を以前受けた方は、6月でちょうど3年なので更新の時期となる。初当選の議員も受けないといけないので、時期と場所等決めて開催したい。

鬼頭会長:前は消防署に行って全員で受けたということだが、初当選の議員は今回初めてということになる。講習会は毎月やっているか。

B C Pチーム長 大野議員:今はコロナ禍で一旦中止しているが、人数を分ける等すればやってもらえるかも。緊急事態宣言が明けたら打診して開催に向けて検討したい。

鬼頭会長:私から消防署に連絡しておく。伝言ダイヤルも一回やらなければいけない。8月の終わりに防災期間があるので、その時でもよいか。

(異議なし)

市民参加チーム長 宮川議員:50周年事業として市民参加チームに振られたが、協議した結果、一旦白紙とし、人事が終わった時点で元から話し合うことにした。この後50周年事業について話し合われるので、市民参加の在り方そのものも含めて、この協議会で方向性を決めてもらえればチーム

も動きやすい。

(2) その他

梅村議員：引継ぎ出来ていないので、前議長として報告する。要綱・要領一覧を執行機関に作成してもらった。数年来、市の要綱・要領を公開できないかと意見が出ていた。公表するには一定の整理が必要ということから始まった。議会の持っている要綱も公開したほうがいいのではないかとということで、現在ホームページで公開している。市からは、タイトルの一覧を作成してもらい、それを配布した。中身については担当課が整理をしている途中なので、現段階ではタイトルだけである。庁内のシステムで最新のものが見られる仕組みを目指している。そうなれば、要綱・要領の資料要求は、議長を経由せずに、事務局から入手することが可能になる。

黒川議員：この一覧は行政LANで見られるのか。執行機関側は例規と同じようにいずれ公開する方向で検討していくとのことなので、それまでの間、議員は要綱・要領は資料要求しなくても議会事務局に申し出れば、データ等で入手するのは可能ということですか。

梅村議員：いずれはそうしたいが、庁内イントラネットに掲載されているものが最新版かどうか定かではないようだ。現時点では、議長経由で資料請求していただきたい。

宮川議員：加除についてはどの時点でアナウンスされるか。

梅村議員：タイムリーに精査する仕組みについてはまだ考えていないので、課題として検討する。

水野議員：一般公開しても構わないものと、公開に馴染まないものの中にあるだろう。区別されるのか。

梅村議員：公開することになれば、それも検討し、精査されるのではないかと。

鬼頭会長：他にあるか。

梅村議員：もう一点、総務・産業建設常任委員会から依頼されていた、交通安全宣言の改訂について交通安全推進協議会理事会で提案することについて、書面会議となったため、保留になっている。担当課には、文面が古いので改訂してはどうかと市議会サポーターから声が上がっていることは伝達済み。議会から何かアクションを起こす必要があるのであれば、委員会で再度決めていただくのがよい。

9 協議事項

(1) 議会サポーターとの意見交換会記録書について

木村議員：3ページの「議会サポーターのなり手を増やすには」の4行目、

「行政を知る1本の勉強」を「1番の勉強」に修正をお願いしたい。

鬼頭会長：同じ個所で、「メリットがない」という表現について。私の記憶では、メリットをもう少しアピールしてはどうかという内容であったと思う。

木村議員：「メリットがあるのか」くらいの文章の方がよいのか、「メリットがないのではないのか」という疑問形のほうがよいのか。

鬼頭会長：こちらで整理しておく。他に意見が無いようなので、これでホームページに掲載する。

(2) 新規サポーター募集準備について

鬼頭会長：今年度は、新規募集を行うことで準備を進めている。例年は全議員で準備していたが、今年度に限っては、会計年度任用職員が入って準備を進めている。

議会事務局長：今年度は10月初旬まで会計年度任用職員が来ているので、下準備をお願いしている。発送は5月31日で進めている。今年度に限り、事務局で行う。

鬼頭会長：募集については6月の議題とする。

大野議員：公募については。

鬼頭会長：募集してどの程度集まるかわからないが、7月14日（水）午後7時からと、17日（土）午前10時から、説明会を2回実施する。

(3) ふれあいトーク実施要綱の見直しについて

鬼頭会長：新旧を比べながら検討したい。意見はあるか。

堀議員：先回、第2条の定義が、文法的におかしいと指摘した。「具体的な課題について」がどこに係るか不明瞭である。例えば「議会活動等に反映するため、地域又は分野別に、団体又は市民を選定し、具体的な課題について意見交換会を行うもの。」という文にするとか。「その意見」がどの意見か分からないし、少し変だと思うのでご一考をお願いしたい。

梅村議員：次のページを参照されたい。

鬼頭会長：第2案に変えるということによろしいか。

(異議なし)

(4) 市制50周年記念事業について

市民参加チーム長 宮川議員：子ども議会開催の提案がチーム内であった。インドアで模擬子ども議会を開く案と、豊橋で行っているようにクイズ形式で議会のことを知ってもらう機会をアウトドア的な発想でやってみて

はどうかという案があった。折衷案として、導入としてクイズ形式、本体として模擬議会との案が出た。それについては先月の推進協議会で一部報告した。その後、どこまで教育委員会や学校等に協力してもらえるのか探るため、文書を作成し前議長にも見てもらったが、もっと具体的な内容に踏み込んだものでないと、文書で投げかけるにはあまりに重いのではとの意見であった。議会人事の後、チーム会議に諮る、もしくはこの協議会で意見をいただきアプローチ方法を決めていきたい。ただ、市制 50 周年記念事業の行事として行うのか、継続的に子ども達の意見を吸い上げる場としての 1 歩とするのか。市制 50 周年記念事業の行事を行うのであれば時間的に厳しいので、今できることは何か、継続的にやっていくきっかけを作るのであればどういうものが適切か、具体的に提案してもらいたい。

鬼頭会長：意見はあるか。

市民参加チーム長 宮川議員：市制 50 周年記念事業は岩倉市としての行事であり、市議会として行うのはどうか、という意見をいただいた。議会改革に取り組んできた本旨は、議会は市民本位であることと理解している。50 周年事業を議会として行う必要があるかどうか。

榊谷議員：前回から今日までの間、チームで会議をしないままきってしまったが、前は教育委員会を巻き込むような重い話ではなくて、ふれ愛まつりなどで、外の会場で楽しくクイズで、例えば岩倉市議会の議員は 20 人、マルかバツか、というような主権者教育が出来たらということを経回はチームで話していたのだが。

市民参加チーム長 宮川議員：広報や日程面で教育委員会の意見を聞きたいということ。ふれ愛まつりでブースを設置して実施するなら対外的な調整などは必要ないので、それは可能な部分だと思う。冒頭に述べたのは、何が今、可能なのか、どういったことをやりたいのか、やるかやらないかも含めてご意見をいただきたいという意味。

片岡議員：手法や内容はある程度、チームで決めていただければいいと思う。何が問題になっているのかわからない。50 周年の冠を付けるか否か、ということか。

市民参加チーム長 宮川議員：50 周年の冠を付けるならば単発的なイベントになると思う。今できる事であれば、榊谷議員の言うようなクイズ形式のもので、チーム会議でもそういう意見であった。子ども議会など、個人的には継続できれば面白いと思うが、50 周年事業とするには時間が足りない。子ども議会と 50 周年事業をつなげるかどうか、課題としてあるし、50 周年事業を単独でとなれば、やるかやらないか、何ができるのか、意見をいただきたい。

片岡議員：スケジュールを気にしているということか。12月1日までに実施しなければならないものではなく、今年度中なら（50周年事業で）よいと思うし、今後の展開はやってから考えればよいのではないか。内容については、子ども達に議会に親しんでもらうというのでいいと思う。

大野議員：犬山市議会が実施しているフリースピーチは、注目されているが他市議会では実施していない。この形式ならば子どもも大人も参加出来るし、検討に値するのでは。

黒川議員：子どもを中心に据えようというなら、それ相応の準備が必要。保護者の理解も得ないといけない。ふれ愛まつりという案があったが、ふれ愛まつりも開催されるか不透明である。子どもたちへのワクチンは現時点ではないし、高齢者以外のワクチン接種も未定の中で、実現可能性が不透明なものは、せつかく計画しても空理空論におわってしまう。頑張れば出来るかなというものがよく、大野議員の提案したフリースピーチにチャレンジしても良いのでは。なにができるか、市民参加チームで具体案を練っていただいた方がよい。

鬼頭会長：結論をそろそろ出したい。次回6月で決定する。

市民参加チーム長 宮川議員：市議会として50周年事業を行う方向でいいか。

鬼頭会長：やれる範囲でやるか、やらないことにするか、ここでは決められない。新チームで話し合って、次回決定する。

市民参加チーム長 宮川議員：やる前提か、やらないのか、それは決めてほしい。

須藤議員：これまでチームで話し合ってきてまとまらず、協議会にまた差し戻して、もう時間が無い。早く結論を出したほうがいい。

梅村議員：チームでやらなくてもいいので、議員個々で骨子案を出してもらってはどうか。誰も案を出さなければ実施できないということ。

鬼頭会長：では、次回までにご意見を待つ。何も出なければできないということになる。市民参加チームで、継続で何かやっていくのかは決めてもらえばよい。次回最終的に結論を付けたい。

（5）議会改革のチーム編成について

鬼頭会長：議会BCPが策定済なので、ICTチームと市民参加チームの2チームを継続していったほうが良いと思うのだが、新しくチームを編成するか、ICTと市民参加の2チームとするか。私の案としては、議会サポーターがなかなか機能していないので、サポーターの育成とか勉強会とか行うサポーターチームを再度編成してはどうかと思っている。

梅村議員：ICTと市民参加の2チームを続けたほうが良いと思う理由は何か。どのようなことに取り組まないといけないから残したほうが良いと思ったのか。

鬼頭会長：ICTチームは、今後進めたいことがあるようなので。市民参加チームについては様々な形で今後も継続していったほうが良いのではないかと思う。

梅村議員：もう少し具体的に、各チームは何の課題に取り組むのか。

鬼頭会長：ICTは、タブレット導入を目指している。

ICTチーム長 片岡議員：タブレット導入と、執行機関からの資料のデジタル化、協議会の録画配信など、まだやり切れていないと感じる部分がある。

木村議員：広報委員会の管轄で、HPに子ども向けページを事務局が準備してくれているのだが、他にもSNSを利用した情報発信等、課題を抱えているところ。これも議会改革の一環なので、広報委員会のメンバーはチームには入らないとは言わないが、考慮してチーム分けをしてほしい。

鬼頭会長：広報委員会は荷が重いのは理解している。2チームにして、チームに入っていない人は広報委員会のサポートに入るのもありか。

大野議員：議会基本条例検証特別委員会で課題として残っている点を洗い出したので、それを解消するためのチーム編成にすべきではないか。

木村議員：賛成である。今年取り組むべき課題を明確にしてチーム分けすることが大事。

鬼頭会長：課題解決チームを作るか、本協議会において全員で考えていくか。

黒川議員：検証特別委員会で洗い出された課題を当協議会で仕分けして、今年度取り組む課題を抽出して、それからチームでやるか、全員でやるかを判断すべきだと思う。会長のほうで次回までに、検証シートに基づいて課題の抽出をお願いできないか。

宮川議員：デジタル化は社会の流れであり、そこに議会がどうかかわっていくのかが大きなテーマである。ICTチームは必要だと思う。市民参加チームは、岩倉市議会と市民とのかかわり方をどうするかという、永遠のテーマであるが、具体的な取組みを投げかけられないと、なかなか進まない。課題ごとにチーム編成をした方が、短期間で具体的な議論ができる。

鬼頭会長：ではチーム編成は次回に持ち越す。課題について、前議長が昨年まとめたような形式で提示するようにする。

(6) その他

鬼頭会長：今年度のふれあいトークについて、実施方針を話し合いたい。新

型コロナウイルス感染症の影響で、昨年は市民活動団体の方及びサポーターの方と、ふれあいトークを実施できたが、行政区では出来なかった。今年も出来ないと思う。実施するならオンラインになると思う。意見はあるか。

大野議員：今年のふれあいトークはオンラインで実施すべきだと思う。どのようなツールを利用するかは次回決定してはどうか。

鬼頭会長：オンラインが中心になるか。対面はなかなか難しいと思うが、サポーターとは対面でやりたい。6月に決めていきたい。議会報告会についても10、11月は出来なかったし、新年度予算はホームページで意見を募集し委員会で質疑した。いい案があれば次の協議会で諮っていきたい。

議会事務局長：ふれあいトーク実施要綱の施行日はいつにするか。

鬼頭会長：6月1日を目途に、議会運営委員会で決めてもらいたい。